

令和6年1月定例教育委員会会議録

○日 時 令和6年1月18日(木) 午後3時～午後3時20分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
学校教育課長	今野 新一	学校教育課指導主幹	渡邊 智
社会教育課長	沼沢 紀恵	社会教育課文化財主幹	五十嵐 雄
スポーツ課長	阿部 三成	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	五十嵐 恭子	給食センター所長	小林 尚志

○出席事務局職員氏名

管理課庶務係長 長瀬 陽彦

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

なし

5 報告事項

(1) 令和5年度学校教職員褒賞選考結果について

(2) 令和5年度鶴岡市民俗芸能交流発表会について

(3) 令和6年鶴岡市二十歳を祝う会について

(4) 藤沢周平記念館朗読会について

(5) 中央公民館令和6年早春文化展について

(6) 女性センター子育て応援講座について

(7) その他

6 閉会

## 開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから1月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(教育部長が先唱し市民憲章唱和)

教育長 本日の会議録署名委員は、1番委員に願います。

本日は議事の予定がないので、報告事項に入る。

報告事項(1)について、事務局より報告をお願いする。

学校教育課 1月11日に教職員褒賞選考委員会を開催した。今年度は2名の推薦があり、鶴岡市立学校教職員褒賞要綱、本市及び地域への貢献等に鑑み、2名の受賞者を選考した。

指導主幹

受賞者は、朝陽第一小学校の佐藤香養護教諭、湯野浜小学校の高橋多賀子教諭である。

朝陽第一小学校の佐藤香養護教諭は、養護教諭、保健主事として保健指導に従事し、児童の健康的な生活習慣の形成と健康意識の向上を目指し、心身共に健康で思いやりのあるたくましい児童の育成に寄与した。近年は、コロナ禍で制限のある中、学校歯科医と連携を取りながら歯科指導に力を入れ、口腔疾患の予防と口腔衛生に対する意識向上を図り、令和元年度から毎年、県良い歯の学校表彰優良校を受賞し、令和4年度には最優秀校となり表彰された。さらに第62回全日本学校歯科保健優良校奨励賞も受賞した。また、令和5年には「歯と口の健康づくりから始まる健康教育の実践」と題し、これまでの取り組みを第56回東北学校保健大会で発表した。校内では特別支援コーディネーターも務め、特別支援教育の推進とともに外部連携の要となって活躍している。

湯野浜小学校の高橋多賀子教諭は、長年に渡り学校運営、生徒指導、特別支援教育分野において力を発揮した。教材、課題提示の工夫をしながら児童の学ぶ意欲を高め、一人一人に応じた「わかる授業」を行うことにより、基礎、基本を確実に習得させる学習指導を実践している。また、成功体験をつまみながら、努力を認め、励ましの言葉をかけるなど生徒指導の三機能を生かした学級経営を実践している。さらには、特別支援教育の知見を生かして、個々の違いを認め、個性を尊重し長所を伸ばす指導実践を積み重ね、児童の生育環境、家庭環境を的確に把握、理解し、課題を抱える児童に対しても常に親身になって向き合っている。児童はもとより、保護者並びに児童養護施設等の関係機関からの信頼も大変厚い先生である。

褒賞授与式は、2月5日(月)午前9時より黄金コミュニティ防災センター大ホールを会場に、第5回市教委招集校長会議に先立ち行う予定である。

- 教育長 ただいまの報告について、質問、意見等はないか。
- 1 番委員 過年度の受賞者を見ると、平成26年以降は3名以上の受賞者がいるが、今年例年より少ないのはなぜか。
- 学校教育課  
指導主幹 各校の校長からの推薦が2名だった。校長会でも来年度の積極的な推薦を依頼するが、基準があるため該当する方を適切に推薦していただいている。校長会でも協議しており、校長一人の判断とならないような工夫もしている。
- 教育長 選考委員会では、教育委員会から推薦できる先生あれば校長会へ提示していただきたいとのことだったので加味していきたい。  
ほかに質問、意見等はないか。  
なければ次に、報告事項（2）から（4）について、事務局より一括で報告をお願いします。
- 社会教育課  
文化財主幹 鶴岡市民俗芸能交流発表会は、市内に受け継がれている民俗芸能の普及と、保存継承団体の交流の場を提供することで、民俗芸能の保存継承意識の高揚を図ることを目的に、令和元年度から毎年開催している。  
今年度は、2月4日（日）の午後1時30分から荘銀タクト大ホールを会場に、市内6団体が民俗芸能を発表する。特に今回は歌舞伎としては初出場となる山五十川古典芸能保存会が「菅原伝授手習鑑」の名場面「車引きの場」を演じるなど、どなたも楽しめる内容になっている。  
入場は無料で、事前申し込みも不要であるので、ぜひ観覧いただきたい。
- 社会教育課長 1月7日に開催した鶴岡市二十歳を祝う会については、委員の皆様から年明け最初の日曜日と大変忙しい中参加いただき誠に感謝申し上げます。  
前日は雪模様であったが当日は会場周辺の雪も解け、天気にも恵まれて開催することができた。  
参加状況であるが、学校基本調査による対象者1,104人に対し883人が参加した。昨年1月の開催時は851人の参加であり、コロナが5類に移行したことから参加者増に繋がったものと思われる。  
昨年はコロナ禍により内容を縮小して開催したが、今回は纏ふり、市民歌や国歌斉唱などの生演奏、市民憲章唱和、そして抹茶のふるまいを4年ぶりに行った。また、警備強化として入館検査を行ったがトラブルなくスケジュールどおり進めることができた。  
式典の様子は、鶴岡ケーブルテレビジョンにおいて、1月16日からYouTubeにより配信が行われている。  
この度の二十歳を祝う会では、手話通訳、要約筆記の皆様、鶴岡市消防団纏隊、鶴岡土曜会混声合唱団、抹茶のふるまいを裏千家淡交会庄内青年部の皆様、着付け直しを呉友会の皆様から協力いただいた。また当日のス

スタッフとして、教育委員会全課からの協力を得て開催することができた。

藤沢周平記念館では、作品世界を豊かに味わい深めていただくことを目的として、朗読会を開催している。現在開催中の直木賞受賞50年記念企画展「藤沢周平と直木賞」関連イベントとして、俳優の篠田三郎氏を招いて朗読会「暗殺の年輪」を読むを開催する。篠田氏の朗読会は平成23年、平成26年、平成29年に続き4回目となる。

3月3日（日）午後1時30分から荘内神社参集殿で開催し、定員は200名、参加料は300円となる。市広報1月号や記念館ホームページ、ポスター、チラシにより周知している。申し込み締め切りは2月2日（金）で、申し込み多数の場合は抽選となる。現在の申し込み状況は180人である。

藤沢周平氏命日に伴う記帳台の設置について報告する。

1月26日は藤沢周平氏の命日であり、藤沢周平記念では毎年館内に記帳台を設置し藤沢氏を偲んでいる。今年は1月21日（日）から1月30日（火）まで設置し、期間終了後に芳名帳を遺族に送付する。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（5）及び（6）について、事務局より一括で報告をお願いします。

中央公民館長

中央公民館では2月22日（木）から25日（日）までの4日間、早春文化展を開催する。この文化展は、市民が制作した作品を広く募集するもので、個人出品のためサークル活動をしていない方も発表いただける。毎年この文化展への出品を目標に制作されている方もいる。受付開始は2月からであり、今年ほどのような作品が出品されるか楽しみである。会期中ぜひ観覧いただきたい。

女性センターの子育て応援講座であるが、今年度は少し視点を変えて「春から始めよう！子どもの腸活講座」をテーマに2月26日（月）午後1時30分から開催する。子どもは食生活や生活習慣などにより腸内環境が崩れてしまい、便秘で悩む子どもも決して少なくないと言われている。子どもはどうしても大人の生活習慣に影響を受けることから、大人が正しい知識を持ち、自分の体調管理も兼ねながら、家庭内での会話のきっかけや生活習慣の改善などに役立てていただきたいと考えている。子育てに関心のある方も参加いただけるので、参加と周知の協力をお願いします。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって1月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時20分）